



知事もいっしょに岩手の旬を堪能 「サケの日給食」

11月11日の「鮭の日」を中心に、秋サケのイメージアップと消費拡大を目指し、県内各小中学校で秋サケ給食が行われた。11月7日に実施した盛岡市の太田小学校には増田知事が訪問、校内放送で全校児童に「サケが生まれた川に戻ってこられるよう、皆さんも近くの雫石川をきれいにする活動を心がけてください」と呼びかけた後、6年生の児童24人と一緒に「鮭のみみじ焼き」「中骨入りカルシウムサラダ」「菊花ごはん」に県北の郷土料理「せんべい汁」の秋サケ給食を堪能した。



本県のイメージアップに提言 「銀河系いわて大使」懇談会

本県の情報発信やイメージアップを担っている銀河系いわて大使と知事との懇談会が、11月8日、東京都内で開催され、首都圏の大使約60人が出席し、意見交換を行った。知事は「最近あまり華々しい話題はなく、地方にも疲弊感が漂っているが、岩手が持つ優れた個性を忘れずに、行政運営に生かしていきたい。」とあいさつ。大使からは、インターネットを活用したPRや、岩手の素晴らしい自然を生かしたイメージアップなどの提言が出された。この懇談会は12月に名古屋でも開催された。



新しい街づくりに気持ち新た 大船渡市・三陸町合併記念式典

三陸町を編入して誕生した「新」大船渡市の合併記念式典が、11月15日に大船渡市内で行われた。式典には国や県、両市町の関係者ら約600人が出席、新市の誕生を祝い、沿岸南部の拠点都市形成へ誓いを新たにされた。両市町の合併は、昨年11月に市側が推進を表明して具体化し、8月31日に合併協定に調印。両市町議会と県議会の議決、総務大臣の告示を経て、ちょうど1年で実現した。この合併によって大船渡市は人口約4万5,000人、沿岸部では宮古、釜石両市に次ぐ第三の都市となった。



知事自らがトップセールス 「いわて純情りんごの集い」

県産リンゴの認知度向上と消費拡大を図るため、首都圏で生産者による販売PR活動を行う「いわて純情りんごの集い」が、11月17日・18日の両日、東京、神奈川の両都県で行われた。17日の研修会に続き、18日には都内のスーパーマーケットの店頭で生産者が消費者に直接PR。また神奈川県内のスーパーマーケットには増田知事が応援に駆けつけ、来店客に県産の「蜜入りりんご」をプレゼントして、岩手のおいしいりんごをPRした。